

# 農林水産商工常任委員会資料

(令和5年6月28日)

## 項 目

- ・ 令和4年度企業局の経営状況について・・・・・・・・・・ 2ページ
- ・ 旗ヶ崎工業団地の土地売買契約について・・・・・・・・・・ 8ページ

企 業 局

# 令和4年度企業局の経営状況について

令和5年6月28日  
企業局経営企画課

## 1 電気事業

### (1) 経営状況

営業収益は、年間を通して降水量が少なかったことに加え、5月から8月にかけて実施された日野川の取水制限及び新幡郷発電所の圧油配管破損に伴う停止、また小鹿第一発電所、小鹿第二発電所及び日野川第一発電所(以下「3発電所」という。)のリニューアル工事に伴う運転停止等により、前年度比63.8%の約6.8万MWhとなったことにより売電収入が減となり、前年度比2億71百万円減の12億43百万円となった。

営業費用は、3発電所のリニューアル工事に伴う固定資産除却費の増により前年度比2億64百万円増の17億7百万円となった。

また、営業外収益は、M&C鳥取水力発電(株)による春米発電所運営維持業務委託収入の減により、前年度比30百万円減の85百万円となり、営業外費用は、企業債利息の減により、前年度比4百万円減の74百万円となった。

以上により、当年度純損失は4億53百万円(前年度純利益1億7百万円)の赤字転換となった。

### ○損益計算書(令和4年度)

(単位:千円)

費用		収益	
営業費用	1,707,367	営業収益	1,242,993
水力発電費	1,283,822	水力電力料	631,023
風力発電費	111,392	風力電力料	71,586
太陽光発電費	183,552	太陽光電力料	323,551
一般管理費その他	128,601	繰延運営権対価収益	111,330
		運営権者更新投資収益	105,503
		営業損失	▲ 464,374
営業外費用	74,277	営業外収益	85,283
支払利息	30,617	受取利息	7,255
雑損失	43,660	長期前受金戻入	28,488
		他会計補助金	2,354
		雑収益	47,186
		営業外利益	11,006
		経常損失	▲ 453,368
特別損失	0	特別利益	0
		当年度純損失	▲ 453,368
		前年度繰越利益剰余金	545,554
		当年度未処分利益剰余金	92,186

### ○貸借対照表(令和4年度末)

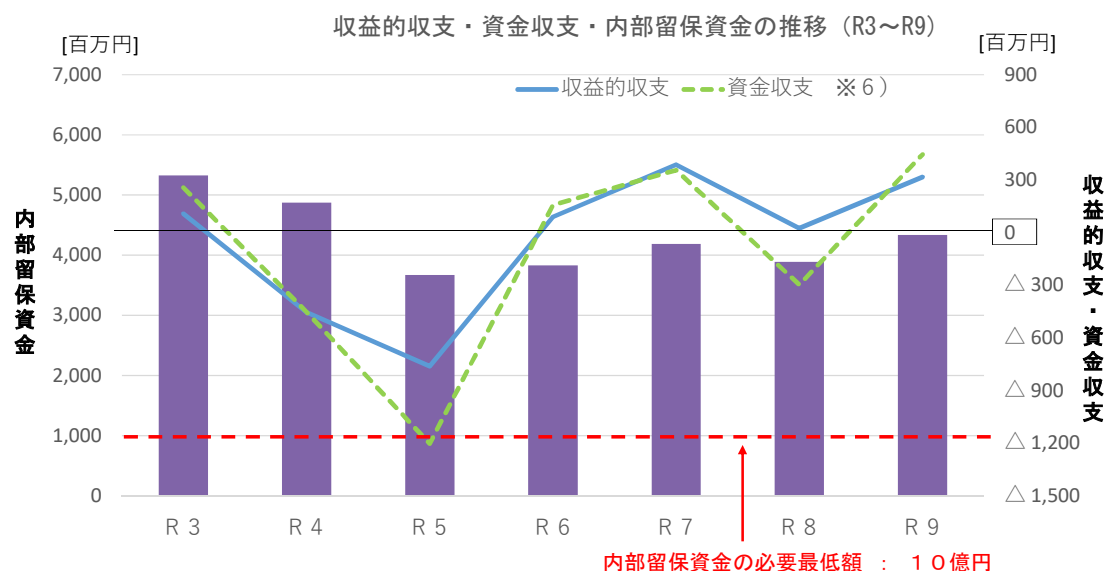
(単位:千円)

資産		負債	
固定資産	14,364,086	固定負債(企業債、引当金)	7,031,413
有形固定資産	13,220,673	流動負債(企業債、未払金等)	674,004
無形固定資産	1,143,413	繰延収益	6,076,214
投資その他資産	2,027,947	長期前受金	547,943
流動資産	5,221,078	繰延運営権対価等	5,528,271
現金預金	4,906,563	負債合計	13,781,631
未収金等	314,515		
		資本	
		資本金	7,512,072
		剰余金	319,408
		資本合計	7,831,480
資産合計	21,613,111	負債・資本合計	21,613,111

## (2) 収支見通し

収益的収支については、今後コンセッションに移行する3発電所（小鹿第一・第二、日野川第一）のリニューアル工事に伴う運転停止により、令和5年度は赤字となるが、令和6年度以降はコンセッションの運営権対価により収益が増加し、安定した経営が確保できる見込みである。

また、17発電所のうち、FIT（固定価格買取制度）適用発電所（14施設）については、引き続き安定的な収益が確保できる見通しであり、その他の水力発電所（3施設）については、発電供給力の価値を取引する容量市場や非化石電源（再生可能エネルギー等）が持つ「非化石価値」を証書化し取引を可能にする非化石価値市場等の新制度を通じて収益の確保に努めていく。



(単位:百万円)

区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
収益	1,629	1,328	1,410	2,147	2,544	2,535	2,524
電力料	1,297	1,027	1,039	1,311	1,311	1,304	1,299
運営権者更新投資収益	106	106	107	353	491	491	491
繰延運営権対価収益	111	111	172	388	649	649	649
長期前受金戻入	29	28	28	27	27	27	23
その他 ※4)	86	56	64	68	66	64	62
費用	1,521	1,781	2,171	2,057	2,157	2,510	2,207
運転経費 ※5)	799	1,090	1,490	1,123	1,073	1,431	1,125
減価償却費	688	660	654	905	1,058	1,056	1,062
支払利息	34	31	27	29	26	23	20
特別損失	2	0	0	0	0	0	0
収益的収支	108	△ 453	△ 761	90	387	25	317
資本的収入	111	111	720	485	758	857	837
企業債	0	0	548	97	109	208	175
運営権対価	111	111	172	388	649	649	649
長期貸付金の返済	0	0	0	0	0	0	13
その他	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出	412	754	1,217	640	767	1,029	728
建設改良費	17	11	613	107	120	229	193
企業債償還金	352	462	604	533	647	800	535
他会計への長期貸付金		200					
一般会計繰出金	43	81	0	0	0	0	0
資本的収支	△ 301	△ 643	△ 497	△ 155	△ 9	△ 172	109
資金収支 ※6)	257	△ 452	△ 1,202	158	356	△ 296	446
内部留保資金 ※7)	5,327	4,875	3,673	3,830	4,186	3,890	4,336

※1)「収益的収支」は税抜き、「資本的収支」は税込み

※2) R3・R4: 決算額、R5以降は推計

※3) R2、9～春米発電所がコンセッションによる運営に移行。小鹿第一・第二、日野川第一もリニューアル後順次移行

※4) 収益のその他は、受取利息、退職給与金に係る他部局負担金、災害共済金 等

※5) 運転経費: 人件費、修繕費、委託料、市町村交付金 等

※6) 資金収支 = 収益的収支 + 資本的収支 + 減価償却費 + 除却損 + 特別損益 - 繰延運営権対価収益 - 運営権者更新投資収益 - 長期前受金戻入 + 引当金増減

※7) 内部留保資金とは、過年度内部留保資金に現年度資金収支を加えたものである。

## 2 工業用水道事業

### (1) 経営状況

営業収益は、既存ユーザーによる減量があった一方、境港市昭和町の新規ユーザーなどへの給水開始により大幅増量となり、契約水量が、前年度より3,440m<sup>3</sup>/日増の40,640m<sup>3</sup>/日となったことから、4億2百万円(前年度比30百万円増)となった。

営業費用は、管理棟やポンプ設備などの動力費(電気代)等の増により5億88百万円(前年度比37百万円増)となったことから、営業損失は、1億86百万円(前年度比7百万円拡大)となった。

営業外収益は、雑収益(工事移転補償)の減により1億4百万円(前年度比18百万円減)となり、営業外費用は、企業債利息の減により54百万円(前年度比8百万円減)となったことから、営業外利益は、50百万円(前年度比10百万円減)となった。

以上により、当年度純損失は1億36百万円(前年度純損失1億19百万円、赤字幅は17百万円拡大)となった。

#### ○損益計算書(令和4年度)

(単位:千円)

費用		収益	
営業費用	587,712	営業収益	401,849
業務費	270,253	給水収益(日野川)	297,416
総係費	944	給水収益(鳥取地区)	104,433
減価償却費	311,442	その他の営業収益	0
資産減耗費	5,073	営業損失	▲ 185,863
営業外費用	53,647	営業外収益	103,933
支払利息等	53,555	受取利息等	2
雑支出	92	長期前受金戻入	85,538
		他会計補助金	615
		雑収益	17,778
		営業外利益	50,286
		経常損失	▲ 135,577
特別損失	0	特別利益	0
		当年度純損失	▲ 135,577
		前年度繰越欠損金	▲3,741,422
		当年度未処理欠損金	▲3,876,999

#### ○貸借対照表(令和4年度末)

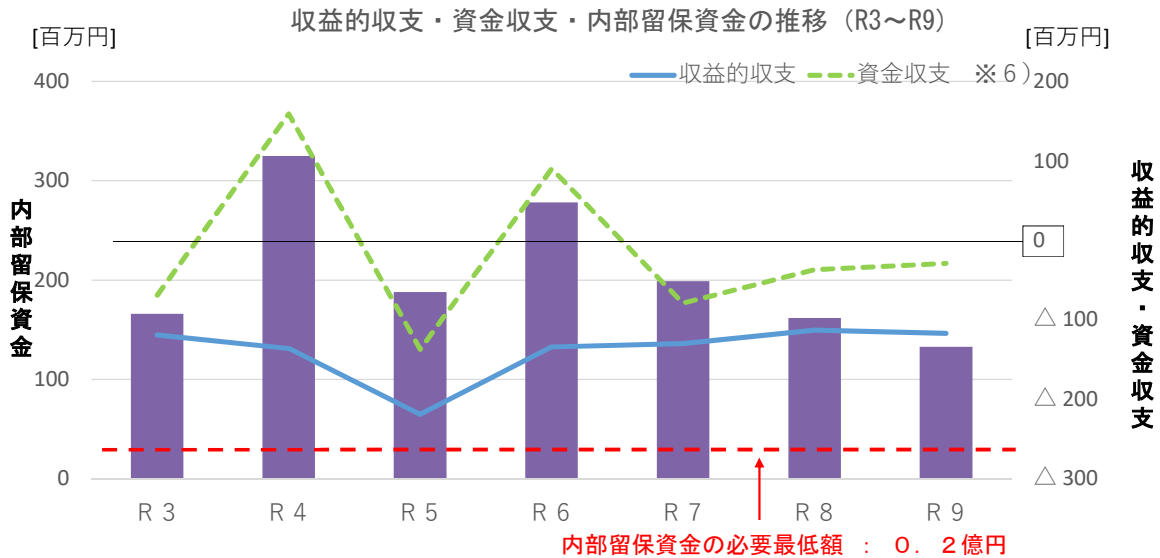
(単位:千円)

資産		負債	
固定資産	8,317,018	固定負債(企業債、引当金等)	4,401,702
有形固定資産	6,657,347	流動負債(企業債、未払金等)	402,859
無形固定資産	1,659,671	繰延収益(長期前受金)	2,037,964
流動資産	321,331	負債合計	6,842,525
現金預金	226,304		
未収金等	95,027	資本	
		資本金	5,379,899
		剰余金	▲3,584,075
		資本合計	1,795,824
資産合計	8,638,349	負債・資本合計	8,638,349

(2) 収支見通し

令和7年度からの新規大口（バイオマス発電会社）の供給開始に伴う増収、支払利息の減により収益的収支の赤字幅が減少し、また企業債償還金の減もあり、資金収支は改善に向かう見通しである。

引き続き、県商工労働部局、地元市等と連携し、企業進出や増産、設備投資の動向等も見据えながら、工水需要の確保・拡大と施設の老朽化対策に取り組むことで持続可能な経営を確保する。



(単位:百万円)

区 分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
収益	494	505	517	511	518	529	529
営業収益 ※3)	372	401	411	414	421	435	435
長期前受金戻入	85	85	84	79	79	76	76
その他 ※4)	37	19	22	18	18	18	18
費用	613	641	736	645	648	642	646
運転経費 ※5)	241	276	366	296	296	296	296
減価償却費	310	311	324	309	317	316	323
支払利息	62	54	46	40	35	30	27
収益的収支	△ 119	△ 136	△ 219	△ 134	△ 130	△ 113	△ 117
資本的収入	416	413	386	523	446	323	200
企業債	108	146	183	313	222	173	48
出資金	308	267	203	210	224	150	152
国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出	571	562	569	743	647	501	373
建設改良費	112	146	183	313	222	173	48
企業債償還金	459	416	369	365	375	278	275
他会計借入金償還金	0	0	17	65	50	50	50
資本的収支	△ 155	△ 149	△ 183	△ 220	△ 201	△ 178	△ 173
資金収支 ※6)	△ 69	159	△ 137	90	△ 79	△ 37	△ 29
内部留保資金 ※7)	166	325	188	278	199	162	133

※1)「収益的収支」は税抜き、「資本的収支」は税込み

※2) R3・R4:決算額、R5以降は推計

※3) 営業収益: R5以降はバイオマス発電等の新規需要を見込む

※4) 収益のその他は、工業用水道事業協力金、受取利息、退職給与金に係る他部局負担金 等

※5) 運転経費: 人件費、修繕費、委託料、市町村交付金 等

※6) 資金収支 = 収益的収支 + 資本的収支 + 減価償却費 + 除却損 - 長期前受金戻入 + 引当金増減 + 他会計借入金

※7) 内部留保資金とは、過年度内部留保資金に現年度資金収支を加えたものである。

### 3 埋立事業

#### (1) 経営状況

営業収益は、竹内工業団地において土地分譲1件(分割払)及び長期貸付1件があったが、土地分譲は分割払いであったため、土地売却収益が減少し、1億5百万円(前年度比66百万円減)となった。

営業費用は、土地分譲に伴う土地売却原価の減等により47百万円(前年度比61百万円減)となり、営業利益は58百万円(前年度比5百万円減)となった。

営業外収益は、退職手当に係る知事部局等負担分の受入れ等の減により、4百万円(前年度比19百万円減)となり、営業外費用の支出がなかったことから、営業外利益は、4百万円(前年度比2百万円増)となった。

以上により、当年度純利益は62百万円(前年度純利益65百万円、黒字幅は3百万円縮小)となった。

#### 【団地別処分状況(R5.3.31現在)】

(単位:ha)

団地名	造成面積	処分面積	長期貸付面積	未分譲面積	分譲率
竹内	128.6	110.2	14.3 (10区画)	4.1 (残4区画)	96.8%
旗ヶ崎	41.9	41.3	0.2 (1区画)	0.4 (残1区画)	99.0%

#### ○損益計算書(令和4年度)

(単位:千円)

費用		収益	
営業費用	47,205	営業収益	105,370
土地売却原価	20,108	土地売却収益	24,793
一般管理費	10,168	その他営業収益	80,577
企業誘致費	16,929	営業利益	58,165
営業外費用	0	営業外収益	3,529
長期借入金利息	0	受取利息	772
雑支出	0	他会計補助金	726
		雑収益	2,031
		営業外利益	3,529
		経常利益	61,694
特別損失	0	特別利益	0
		当年度純利益	61,694
		前年度繰越欠損金	▲ 4,289,538
		当年度未処理欠損金	▲ 4,227,844

#### ○貸借対照表(令和4年度末)

(単位:千円)

資産		負債	
固定資産	0	固定負債(引当金)	18,008
土地造成(完成土地)	1,973,170	流動負債(他会計借入金等)	2,635,818
流動資産	695,334	負債合計	2,653,826
現金預金	452,702		
未収金等	242,632		
		資本	
		資本金	3,267,761
		剰余金(資本剰余金・繰越欠損金)	▲ 3,253,083
		資本合計	14,678
資産合計	2,668,504	負債・資本合計	2,668,504

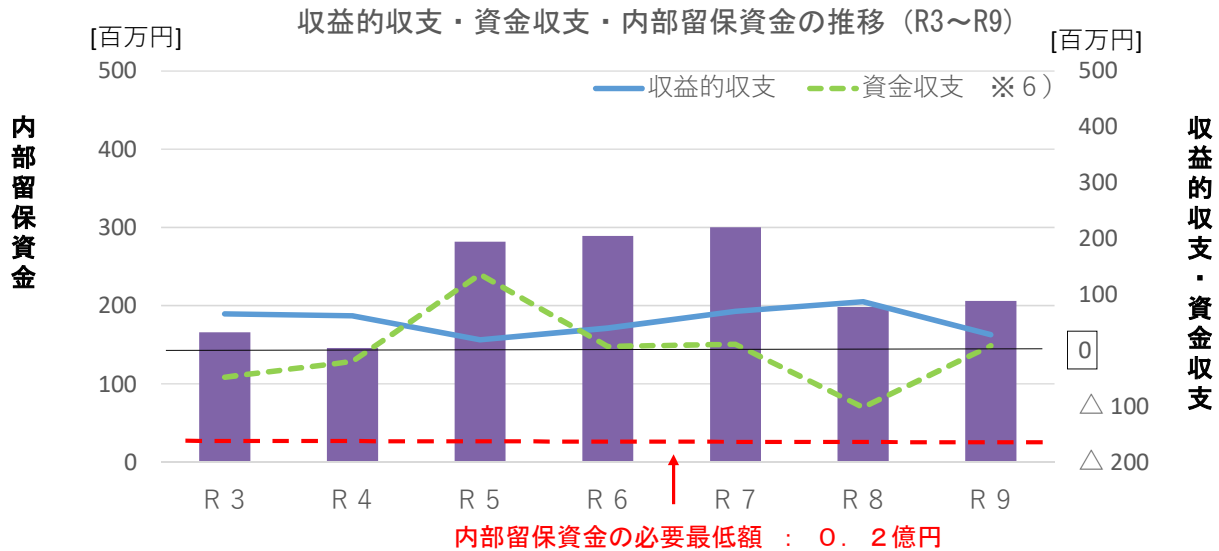
※剰余金には未処理欠損金約42.3億円が含まれている。これは、平成26年度の会計基準の見直しにより、竹内工業団地の帳簿価格を「取得価格」から「時価」に変更したことにより、現金支出を伴わない評価損(約52億円)を計上したことによるもの。

## (2) 収支見通し

土地売却（割賦分を含む）や長期貸付による安定的な収入が見込まれ、収益的収支は、黒字が確保できる見通しである。

なお、一般会計からの借入金残高約 2.2 億円は未分譲地（長期貸付含む）の売却により返済できる見通しである。

引き続き、県商工労働部局、地元市等と連携し、土地売却に向けて営業展開していくとともに、竹内工業団地の貨客船ターミナルの背後地の分譲については、地元境港市と連携し「みなと・賑わいづくり」にふさわしい分譲を進める。



(単位:百万円)

区 分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
収益	195	109	298	127	410	494	143
営業収益 ※3)	172	105	268	100	385	472	123
営業外収益 ※4)	23	4	30	27	25	22	20
費用	130	47	279	87	340	407	115
土地売却原価	78	20	156	17	271	341	50
運営経費 ※5)	52	27	123	70	69	66	65
収益的収支	65	62	19	40	70	87	28
資本的収入	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出	190	100	40	50	330	530	70
借入金償還金	190	100	40	50	330	530	70
国庫補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0
資本的収支	△ 190	△ 100	△ 40	△ 50	△ 330	△ 530	△ 70
資金収支 ※6)	△ 48	△ 20	136	7	11	△ 102	8
内部留保資金 ※7)	166	146	282	289	300	198	206

※1)埋立事業は消費税及び地方消費税については免税

※2)R3・R4:決算額、R5以降は推計

※3)営業収益:土地売却(割賦分や長期貸付からの切替を含む)及び長期貸付による収益

※4)営業外収益:土地貸付料(短期)、受取利息、退職給与金に係る他部局負担金 等

※5)運営経費:人件費、団地整備費、委託料、市町村交付金 等

※6)資金収支=収益的収支+資本的収支+土地売却原価+引当金増減

※7)内部留保資金とは、過年度内部留保資金に現年度資金収支を加えたものである。

# 旗ヶ崎工業団地の土地売買契約について

令和5年6月28日  
企業局経営企画課

旗ヶ崎工業団地について、株式会社大協ホールディングス（本社：米子市蚊屋）と土地売買契約を令和5年6月21日に締結しました。

同社は、主に土木建築業を営んでいますが、エコプラント部門の充実を図るため焼却灰リサイクル施設を増設するにあたり、当該土地を購入するものです。当該土地の売却により、旗ヶ崎工業団地は完売となります。

なお、当該土地には、長期貸付中に破産手続きが開始された土地（債務者：株式会社MICO TOテクノロジー）が含まれており、破産管財人（弁護士法人アザレア法律事務所）による清算により、未収債権を回収できる見込みです。

## 1 売却先企業の概要

- (1) 名称 株式会社大協ホールディングス
- (2) 代表者 代表取締役 小山 典久（こやま のりひさ）
- (3) 所在地 米子市蚊屋235番地2
- (4) 業種 経営コンサルタント業、建築工事、産業廃棄物中間処理業ほか
- (5) 従業員数 65人

## 2 売却の内容

- (1) 売却面積 5,941.77㎡（米子市旗ヶ崎2319-2及び2319-3）
- (2) 用途 事務所、保管倉庫及び処理施設
- (3) 売却金額 76,054,656円（一括払い）

## 3 売却地での事業概要

- (1) 事業内容 産業廃棄物中間処理施設
- (2) 投資額 400,000千円（土地代込）
- (3) 従業員数 4名程度（うち新規常用雇用予定 1名程度）
- (4) スケジュール 令和6年4月～10月 施設建設  
令和7年1月 操業開始

## 4 借地料未収債権

- (1) 対象物件 [所在地] 米子市旗ヶ崎2319-3  
[地籍] 2,052.89㎡
- (2) 借地料 金3,325,680円（令和3年4月分から令和5年6月分まで未収）
- (3) 債務者（破産者） 株式会社MICO TOテクノロジー
- (4) 破産管財人 弁護士法人アザレア法律事務所（米子市加茂町2丁目112番地）

## 【旗ヶ崎工業団地（売却地付近）の平面図】

